



おっきいの
いっぱいあったよ!!
保育所児童のさつまいも掘り

9月12日、富士・桜木両保育所の児童約70名が、サツマイモ掘りに挑戦。

北海道での収穫は難しいとされているサツマイモ。丸いイモしか見たことがない、という児童の声に応えようと同保育所が今年初めて苗を植えました。

さっそくイモを掘り当てた児童の中からは「先生あったよ!こんなにおっきい」と、歓声があがっていました。

NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'91.10.1
No.492

■人口/56,527 ■世帯/19,905 (前月比=人口-60・世帯-16) 平成3年8月末現在

① 10月の土曜閉庁(休み)は12日と26日です

スクラムにブル

伝統の火を消すな!



幌別駒おどりは、

昭和三十八年に「先

人が苦勞して開拓した幌別地区の郷土意識を高めようと、幌別第一町内会有志が考案しました。開拓当時にたくさんいたという馬の若駒と子供が遊びまわる姿を表現した駒おどりは、踊り手の児童の減少などにより昭和五十二年以降活動が休止していました。

その後、「幌別」という名称がいろんな所で目にすることがなくなって来たので、幌別と名の付く駒おどりをぜひ残したい」と、昭和五十九年に鉄南連合町内会の支援で「幌別駒おどり保存会」が発足しました。しかし、最近再び踊り手となる児童が少なくなり、昨年はついに行事へ参加できなくなりました。

このため同保存会は、幌別東小の児童に駒おどりの由来や意義をPRし、参加を呼びかけました。その努力が実り、新メンバーが二十名となって活動が再開されました。

子供たちは、同保存会の根本護育成部長の指導のもとに練習を続け、大地の祭典と町内会の敬老会でその成果を披露しました。

育成部長の根本さんは、「今度こそ伝統芸能の火を絶やさぬよう、地域に根付かせたい」と話していました。



フジの花が咲いている



初夏の訪れを告げるフジの花。登別の初秋が余りにも暖かかったせいか、何と九月に入ってから咲かせてしまいました。場所は常盤町の吉岡さんのお宅。「十六年前に家を建てた時に一緒に植えた」という木が季節はずれの花をつけました。今年も六月には満開になり、家族を楽しませたこのフジの花。吉岡さん宅では「冷夏だった分をお返ししてくれたのでは」と、喜んでいました。

北の秋をたん能 第八回大地の祭典

九月七日、八日の両日、札内町のソウシャルグリーン草地で第八回大地の祭典が開かれました。

「大地の恵みに感謝と生産の喜びを表そう」と開催された同祭典。

初日は、さわやかな秋晴れに恵まれて家族連れやグループが次々に訪れ、一面緑のジュータンのような芝生に陣取った後は早速バーベキューの始まり。

普段味わうことの少ない大地の空気を調味料に加え、地元産の牛肉やブレス肉でない羊肉に舌つづみを打っていました。

また、会場を取り囲むように立



ち並んだ農畜産物や手工芸品等の出店にはぎわいを見せ、羊のレースや早飲み競争、紙ヒコキ飛ばし等多彩なイベントに北海道の秋

をたん能していました。

最終日の八日には、道内外から史上最高の九百三十名が参加したクロスカントリーレースが行われ、健脚を競い合い、レース後は日本陸上競技連盟理事沢木啓祐氏による走り方教室も開かれ、参加者は本格指導に耳を傾けていました。

市の動きつづさ

市民見学会

市の姿を認識し、市政に対する理解を深めていただくとうとう九月十一・十二・十三・十四・十五の五日間にわたり、平成三年度の市民見学会が行われました。

個人参加四十七名、団体参加三団体六十六名の市民が、清掃工場や千歳最終処分場、若山浄化センターなどの公共施設と市内の観光施設をつぶさに見て歩きました。

参加した市民は、登別の発展ぶりや最近の観光施設の充実ぶりに目を見はる一方で、市が現在抱えるゴミ問題を目の当たりにし、「私達ができることはきちんとしなくては」と、ごみの減量や分別収集に対して理解を深めていました。



わだいな 完成若草ドーム

今年の十月に開校二十周年を迎える若草小学校に九月十七日、若草ドームがオープンしました。同ドームは、数度にわたる水害で使用不能になっていた旧体育館を再利用し完成しました。旧体育館は改修するにも取り壊すにもかなりの費用が必要のため、それでは——と床を取り払い室内グラウンドにしようと企画されました。七月から始まった改装工事には、



地域住民や小学校・教育委員会職員が労力奉仕で参加。土砂搬入や整地、ペンキ塗りなどに汗を流しました。この日の落成式には野球、サッカーの少年団員、ゲートボール愛好者など約百五十名が出席し、オープンを祝いました。スポーツ少年団の代表の中には「これからはつらい日々が始まりそうです。今まで練習が休みだった雨の日もがんばらなくてはいけなから」と、ちよつぱり本音も漏れていましたが、どの顔も天候に関係なく土の感触を味わえる手作りドームの完成にニコニコ顔でした。

大和電機北海道 社屋工事進む



昨年六月に登別市へ進出を表明していたサーモボニック（昨年十一月操業開始）と大和電機工業。その大和電機工業の現地法人大和電機北海道の工場建設工事が、来年四月からの操業開始を目指し千歳町二番地で始まりました。

登別の新工場では、産業用電子部品の高密度表面実装プリント基板の製造と新製品の開発設計などを手掛ける予定です。従業員数は昨年既に地元採用をしている七名を含め二十五、六名になる見込みで、平成五年度には四十名規模、年間売り上げ五億円を目指しています。

タイムスリップで 江戸時代へ

中登別町で建設を進めていた、登別伊達時代村がその全容を現し

ました。

来年四月オープン予定の同時代村は、昨年五月の着工以来約百二十億円が投じられ、江戸情緒たっぷりの町並みが再現されました。これまでに伊達藩家老家敷をはじめ、歴史的な木造家屋や芝居などを行うイベント施設など九十六の建て物の外観が完成し、周囲とは異なる一つの村が形成されたよう。今年中に内装工事を終了させ、年明けから出し物の練習を重ね、平成四年四月二十三日のオープンを待つ同時代村は、初年度入場者

笑顔がいっぱい ふれあい広場'91



体が不自由な方と地域住民が交流を深め、理解し合おうと「ふれあい広場'91のぼりべつ」が九月一日、鉄南ふれあいセンターで開かれました。

百二十万人を目指しています。



この日の会場は、前日の雨がうそのように晴れわたり、真夏を思わせるような日差しが照りつけて、かき氷やビール、ジュースなど売り切れが出る程の陽気でした。

同広場は、体の不自由な方の社会参加促進と市民の間にノーマライゼーションの考え方を定着させようと、「ふれあい」で生まれる正しい理解」をテーマに、昨年に続いての開催となりました。

今年には最新の福祉機器を搭載した「はまなす号」による介護機器の展示と説明が行われたほか、体験の広場」と題して手話や点訳の実技、車イス体験にたくさんの方々が参加していました。

集まった市民は、お祭り形式の同広場を楽しむ一方で、体にハンディを持つ方の日常の苦勞にふれ、認識を新たにしていきました。

第二回

市議会定例会

一般会計補正予算などを提案

平成三年第三回市議会定例会は、九月二十日から開かれ、当初議案として報告一件、議案十九件及び選任一件が上程されました。
以下今議会で審議されている議案の主な内容についてお知らせします。

▽登別市職員等の旅費に関する条例の一部改正について

地方自治法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、議会の委員会の参考人、関係人に対する実費弁償を支払う範囲を追加するとともに、併せて監査に係る関係人に対する実費弁償を支払う規定を整備するため本条例の一部を改正するものです。

▽工事請負契約について

平成三年度緑ヶ丘団地建替（建築主体）工事の請負契約を締結するので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議会の議決を求めるものです。

▽市道路線の認定について

次の道路を市道として認定した

いので議会の議決を求めるものです。

- 登別二十五号線（登別本町二丁目三十三番六地先）同町二丁目三十四番十地先）○東町七十号線（登別東町四丁目三十四番八地先）同町四丁目三十四番十地先）○東町七十一号線（登別東町四丁目四十二番十一地先）同町四丁目四十二番八地先）○若山四十九号線（若山町一丁目十二番十三地先）同町一丁目十二番十一地先）○若草百六号線（若草町五丁目十二番五地先）同町五丁目十二番一地先）○栄町二十六号線（栄町一丁目六番四地先）同町一丁目十番十七地先）○片倉十八号線（片倉町三丁目三番八地先）同町三丁目三番十地先）

▽教育委員会委員の任命について
中山隆二郎委員が九月三十日をもって任期満了になることから、新たに警別町三丁目二十三番地二、峰田弘道氏を任命したいので議会の同意を求めるものです。
▽登別市議会委員会条例、登別市議会会議規則の改正及び登別市議会運営特別委員会設置要綱の廃止について

地方自治法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、議会運営委員会の設置及び参考人制度を明確化するため本条例及び本規定を改正し、本要綱を廃止するものとする。

▽議会運営委員会委員の選任について

登別市議会委員会条例に議会運営委員会が新設されたことに伴い、委員を選任するものとする。

（その他の議案）

○株登別振興公社の第十五期決算及び第十六期事業計画の報告
○平成三年度各会計決算の認定
○平成三年度登別市公共下水道事業特別会計補正予算について
○市道路線の変更について

一般会計補正予算の主な内容

平成三年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ一億二千五百五

万六千円を追加し、歳入歳出予算総額はそれぞれ百五十九億一千七百八十八万八千円となるものです。歳出予算の主な内容は次のとおりです。

- 国民健康保険特別会計繰出金・九千二百六十二万五千円
- 市道常時補修費・一千七百三十五万円
- 西通り排水路移設事業費・三百一十万円
- カルルス路線改良事業費・三百九十五万円

国民健康保険特別会計補正予算の主な内容

平成三年度国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ九千二百六十二万五千円を追加し、歳入歳出予算総額はそれぞれ四十六億四千二百六十五万五千円となるものです。歳出予算の主な内容は次のとおりです。

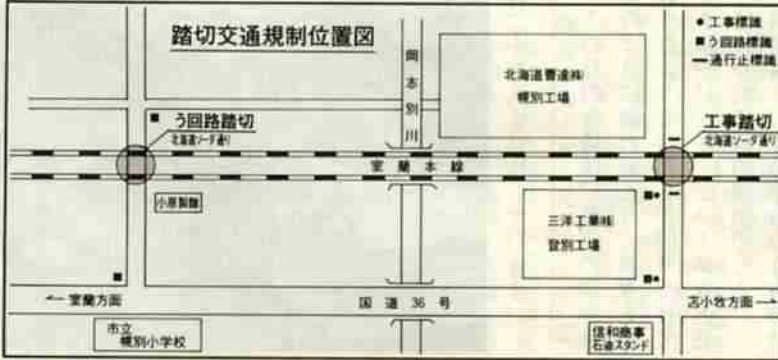
○諸支出金・九千二百六十二万五千円
……国民健康保険事業の運営経費にあてるため、国は市町村に対し毎年度普通調整交付金を交付しています。当市もこれまで交付金を受けてきましたが、過去五年間にさかのぼり再調査した結果そのうち三年間、当交付金を受けすぎていたため一般会計から財源を繰入れて国に返還するものです。

踏切を閉鎖します 北海道ソーダ裏通り

岡志別川橋梁切替にともなう線路移設のため北海道ソーダ裏通り踏切を閉鎖します。工事中は大変ご迷惑をおかけしますが、最寄りの踏切をご利用ください。

▽踏切閉鎖日時 十月六日午後十一時から翌日午前八時までと十月二十四日午後十一時から翌日午前八時まで

▽問い合わせ JR北海道登別保線管理室（☎011059）



市街化区域及び市街化調整区域が一部変更になります



室蘭圏(室蘭市・登別市・伊達市)都市計画市街化区域と市街化調整区域の一部を変更することに、十月一日付けで道の素案が告示されました。

このうち、登別市関係の変更計画案(図①、②参照)の概要と、皆さんのご意見などをおうかがいする公聴会(道主催)の開催についてお知らせします。

●変更の必要性
 (変更計画案の概要)
 現在の市街化区域と市街化調整区域は、昭和四十五年十二月二十八日に決定され、その後昭和五十四年十月二十二日に第一回目、昭和五十九年八月十六日(昭和六十年四月一日一部変更)に第二回目の見直しを行い現在に至っています。市街化区域及び市街化調整区域

域の区分は、住みよい街づくりを目指し、おおよそ十年先を目安に定めたものですが、昭和六十年から実施している都市計画基礎調査および将来予測の結果などを考慮し修正変更することになったものです。

●変更の基本方針

現在、定められている都市計画は平成二年を目標として計画されていましたが、今回の変更案は、目標を平成十二年におき、人口規模、産業の動向、住宅や工場などの建築動向などをもとに予測をし、さらに土地利用計画などを基礎にして市街化区域の規模が決められることとなります。

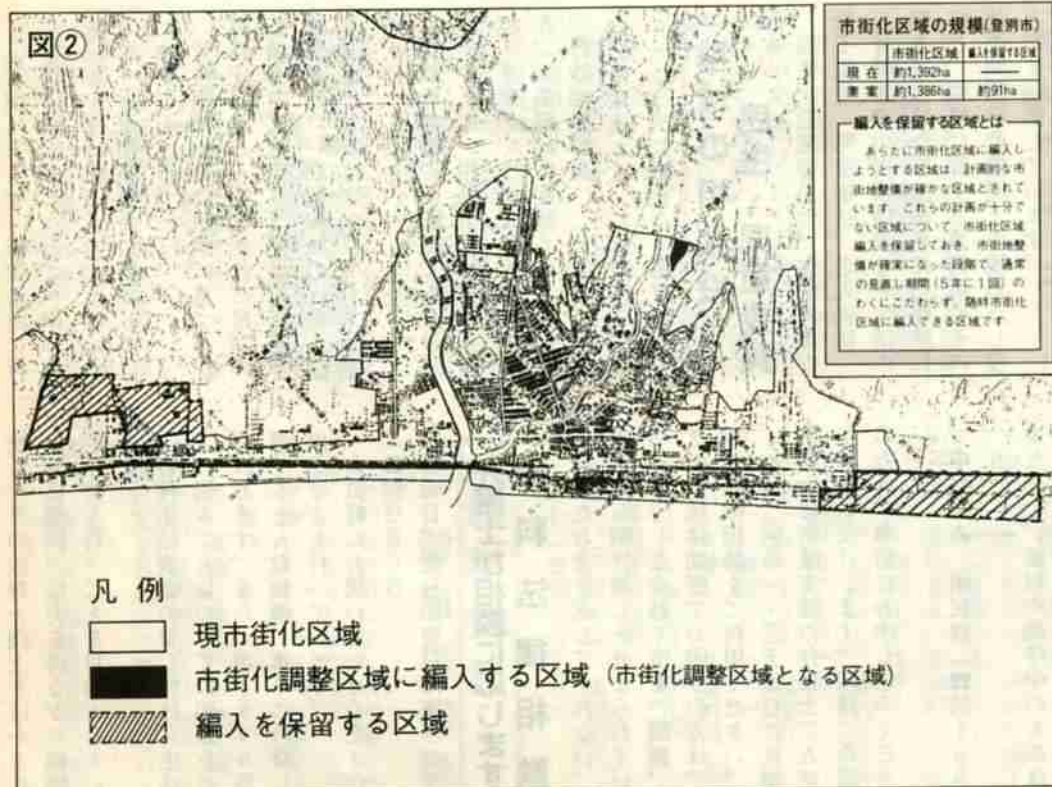
登別市では市街化区域への編入予定区域はありませんが、編入を保留する区域が二区域、市街化調整区域への編入予定区域が二区域となっております。(表参照)

(公聴会でご意見を)

▽日時 十一月一日(金)午後一時二十分

▽会場 室蘭市胆振地方婦人会館
 二階大研修室(室蘭市東町四一二十九一)

この公聴会で意見の陳述を希望される方は、十月二十五日(必着)までに素案に対する意見の要旨とその理由、住所、氏名を記載した書面を知事(〒060・札幌市中央区北三条西六丁目・北海道住宅都市部まちづくり推進室都市計画課)あてにお送りください。



市街化区域	計画目標区域
現在 約1,352ha	—
素案 約1,386ha	約91ha

編入を保留する区域とは
 あらたに市街化区域に編入しようとする区域は、計画的な市街化整備が確かな区域とされています。これらの計画が十分でない区域について、市街化区域編入を保留した段階で、過密の発生し難い(5年に1回)のわくにわたらず、随時市街化区域に編入できる区域です。

なお、知事は公述の申し出の書面を提出された人の中から、公聴会で意見を述べることが出来る人を定めて、本人にその旨通知します。

また、公聴会での傍聴は会場の都合で、先着百名で締め切ることがありますのであらかじめご了承ください。

※道素案、公聴会に関するお問い合わせは、北海道住宅都市部まちづくり推進室都市計画課(☎011-231-4111内線29413)または市役所都市計画課(☎854115)まで。

暮しのために

私たちが日常生活を営むとき、そこにはいろいろな問題やトラブルが必ずといっていいほど起こります。そんなとき一人で思い悩むことはありませんか。

市や各関係機関では、皆さんの抱えるさまざまな問題について幅広く対応できるように、各種の相談窓口を開いています。

心配ごとや悩みごとは、一人で悩まずご相談ください。

心配ごとありませんか 一人で悩まず相談を

人間関係のトラブル

ご相談は— 人権擁護委員へ

人権擁護委員は、家庭内のもめごと、近隣とのトラブルをはじめとするあらゆる人権問題、不動産等の登記・婚姻・離婚等戸籍に関する問題などの相談に応じています。現在市内には五人の人権擁護委員が法務大臣により委嘱されています。お気軽にご相談ください。

▽人権擁護委員

- ・星 喬さん 新生町五—二十一 十一(☎868286)
- ・多田弘さん 富士町六—二十七 一四(☎852837)
- ・木村時子さん 中央町一—十六 一(☎880511)
- ・吉田勝彦さん 登別東町四—七 一(☎831128)
- ・鹿内正敏さん 登別温泉町十一 一三(☎842314)

行政への要望や苦情 行政相談

毎日の暮らしの中で、道路や河川の整備・環境衛生など、国や公団などの仕事に苦情や要望意見はありませんか。

「苦情はあるが、直接役所に行って言いくい」「どこへ申し出たらいいのかわからない」という方は、行政相談委員に相談してはいかがでしょうか。

行政相談委員は法律に基づき、総務庁長官から委嘱された民間の有識者で、住民からの苦情や要望、意見を受け、問題解決の促進を図る国民と国の行政とのパイプ役です。

相談は無料で、匿名でも受け付けています。相談方法は口頭・電話・手紙のいずれでもかまいません。お気軽にご相談ください。

▽行政相談委員

- 石本重吉さん 柏木町四—二十 一—十九(☎854167)

地域の相談役

民生・児童委員

民生・児童委員は、生活保護、母子福祉、児童福祉、老人福祉、心身障害者の援護措置など生活の悩みごとについて皆さんの相談に応じ、福祉に関する事務所やその他の関係行政機関との橋わたし役として活動しています。

※各地区の担当民生委員については、社会課(☎851911)にお問い合わせください。

登別市

社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域住民が主体となって社会福祉の問題を解

決し、その改善と向上をはかるため関係機関の協力を得ながら組織的活動を行うことを目的としています。

各種生活資金の貸し付け、生活上の悩みごとについての相談をお受けします。また、ポータブル浴槽やふとん乾燥機、車イスの貸し出しなども行っています。

お気軽にお問い合わせください。
(☎880860)

※日曜日、祝日の翌日は休みです。

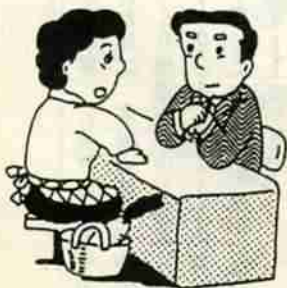
弁護士が相談に応じます 無料法律相談

貸したお金を返してくれない、家主から明け渡しをせまられている。こうした金銭や借家の問題、その他法律問題でお困りの方は、無料法律相談をご利用ください。

毎月二回第一・三土曜日に札幌弁護士会室蘭支部の弁護士二人が相談をお受けします。相談ご希望の方は、事前にお申し込みください。

▽申し込み 市民課(☎851855)

※ただし、裁判や調停中のものは、お受けできません。



幸せな

生活相談 老人・心身障害者福祉



子供の非行や登校拒否 母子・児童相談

子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所、母子家庭の悩みなどでお困りの方は、ご相談ください。

▽相談日 毎日午前九時～午後四時（土・日・祝日を除く）

▽場所 福祉課（☎52008）
※このほか、年5回、室蘭児童相談所の定例相談も行っています。日程などについては、広報でお知らせします。

商品についての 苦情やトラブル

商品購入の契約をしたが解約したい、解約でトラブルが起きている、ニセの商品をわたされたなど消費者保護の立場からいろいろな苦情や相談をお受けしています。

市は、登別消費者協会と連絡をとりながら消費生活に関する各種

の相談に応じています。

▽相談窓口 市民課（☎51855）

年金についての疑問 国民年金相談

私たちの老後、障害や死亡に対する保険給付を行いその所得を保障する年金制度。

その中で市役所が窓口となっている国民年金制度には、自営業の方やその家族、会社員の配偶者などが加入しています。

ますます高齢化が進み、不安を抱きやすい老後の生活に備え、国民年金に関する疑問について相談をお受けしています。

▽相談窓口 市民課（☎51855）

市民と市政のパイプ役 広聴広報係

市民の皆さんの市政に対するご意見・ご要望をお受けする窓口です。

寄せられたご意見・ご要望は、広聴広報係を経由して担当課へ送られ、担当課では内容を調査、検討し、その結果を皆さんに直接お知らせします。

市政について日頃皆さんが感じていること、市政へのアイデアなどもお寄せください。

▽問い合わせ 総務課（☎51130）

登別消費者協会

登別消費者協会は、悪徳商法の根絶や商品についての苦情相談、食品の安全性確立、資源の回収など私たちがよりよい消費生活を営めるようさまざまな活動を行っています。

消費生活に関する問題や疑問などご連絡ください。

登別消費者協会（千歳町三丁目労働福祉センター内 ☎58307）
※ただし毎週火・木曜日の午前10時から午後三時まで受け付け。

身障手帳の申請や施設入所 身体障害者相談

心身に障害のある方と、その家族の方の相談窓口です。

身体障害者手帳や療育手帳の申請をはじめ、補装具交付の手続きや施設入所の相談をお受けしています。

▽相談窓口 福祉課（☎52008）

また、市内には身近な相談役として次の方がいらつしやいます。

○身体障害者相談員

・山口 三太郎さん 中央町七一

六―五（☎53858）

・長谷川 勝男さん 栄町二一九

一―二（☎5066）

・中川 千代吉さん 中央町四一

一―十一（☎52407）

・戸辺 德行さん 富浦町一―四

一―十四（☎51637）

・小館 忠治郎さん 登別温泉町

一―（☎42727）

・佐藤 みつ子さん 富士町三一

五―一（☎52077）

・大高 興蔵さん 常盤町四―三

十九―八（☎53821）

○精神薄弱者相談員

・大越 一三郎さん 美園町二一

二―七（☎6376）

健康相談 健康指導係

六名の保健婦により市内各地区で赤ちゃんからお年寄りまでを対象に健康についての訪問指導を行っています。

また、高齢化社会にむけて寝たきり予防、成人病予防についての健康教室を各地区で開催しています。

▽問い合わせ 保健衛生課（☎51771）

みんなが悲しむ交通事故は

もういっしょ免だ!!

死亡交通事故が多発しています。スピードの出し過ぎなど無謀な運転による事故が後を絶たず、今年に入ってから市内で三件の死亡事故が発生しています。

事故による被害者の苦しみはもとより、加害者のドライバーも事故の代償の余りの大きさに苦しんでいます。

一人ひとりが事故を起こさない、事故に遭わない、そして尊い命を守るための行動が必要です。



死亡交通事故 既に三件発生

登別市内の交通事故発生件数は、昨年を上回り、死亡事故についてもすでに昨年一年間と同じ三件が発生しています。

七月三十一日現在で百十六件発生し、死者三名、傷者百五十一名となっており昨年同期と比べ発生件数で六件多くなっています。交通手段として私たちの日常生活

活に欠くことのできない自動車は、

その便利さの反面、一步誤ると歩行者はもとよりハンドルを握るドライバー自身にとつても凶器となり命を脅かします。それだけにドライバーは凶器を動かす者としての厳しい注意が必要です。

しかし、現実には発生している事故を見るとあまりにも無自覚、無責任、不注意なドライバーが多いのに驚きます。

事故による家庭の崩壊、生活設計の破たん、幸せな家庭が一瞬にして不幸のどん底に落ちるのは、加害者、被害者共に同じです。

とり返しのつかない事態になって初めて事故の恐ろしさに気づく。そんな事例の繰り返しが余りにも多いのが現実です。



交通事故防止の願いをこめて

五月七日と十三日に川上町の道で二件のオートバイによる死亡事故が発生しました。一件はスピードの出し過ぎ、もう一件はハンドル、ブレーキ操作の誤りによる事故でした。

「ルールを守り交通事故を起こさない運転をします」と誓っていました。

また、九月十九日には、人と旗の波運動実行委員会と市及び登別市交通安全教育推進委員会による「91人と旗の波街頭啓発」が行われました。

これは、今年に入つても一向に減少しない交通事故から、これ以上犠牲者を出さないとの決意を込めて実施されました。市内の各小中高の児童生徒や一般市民約八千人が市内の幹線道路に立ち、道行くドライバーに交通事故防止を訴えました。



市と登別市交通安全協会は、多発する二輪車の事故防止のため正しい運転マナーを身につけてもらおうと「セーフティライダーフェスティバルイン登別」を八月に開きました。

道警白バイ隊員による模範演技の後、参加した約五十人がバランス、ブレーキ操作、コーナリングなどの実技指導をたっぷり受け、



古くて新しい

ゴミの問題

家庭から毎日出される多量のゴミ。その中でも空きびん、空き缶、プラスチックトレイなど燃やせないゴミの処理方法について、全国各地でいろいろな問題が起きています。

燃やせないゴミを減らすこと、ゴミをゴミとして捨てるのではなく、資源として再利用できるものは回収すること。このことが大変重要な課題となっています。

常盤町方式とは？

登別市でも、多くの町内会で古紙回収などゴミの再資源化に取り組んでいます。今回は、六月から空き缶回収を始めた常盤町内会にうかがってお話を聞きました。

常盤町内会は今年の春、役員のみなさんが集まった時に、空き缶回収をやってゴミの減量化、再資

源化に少しでも役立てようという話しがまとまりました。リサイクル運動の中では、古紙回収が一般的ですが、これについては老人クラブや子供会などですでに取り組んでいるので、町内会として別なものということで空き缶回収になったとのことでした。

四月から準備を始め、六月から回収を行いました。回収の方法は町内の六カ所に空き缶回収専用の回収カゴを設置し、役員六人が交代で見回ってカゴが一杯になったら随時ゴミ袋で収集すること。夏の暑いころは、二日間カゴからあふれるほど集まったこともしばしばあったそうです。集めた空き缶は一カ所にまとめ、四十袋程になった時点で業者に引き取ってもらいます。ゴミ袋四十個で軽トラック一台分になり、六月、七月はそれぞれ二回ずつ業者に渡すことができました。重さにして六月は六十キ、七月が八十キあったそうです。これだけの量で収益

はどれくらいですかとの質問に、町内会長さんは「私たちも大いに期待していたんですが、初回は三百円でした」との返事。これでは回収カゴから空き缶を集めるときに使うゴミ袋の金額にも足りない、と役員の人たちも少しガツカリしたそうです。



意識が高まれば…

リサイクルの面で重視されているのはアルミ缶で一キ三十円で引き取ってもらえますが、スチール缶は一キ一円とのこと。しかし、回収する空き缶の約九十パーセントはスチール缶で占められているため、この程度の金額にしかならないのです。けれども、この空き缶回収の最大の目的は、これによってゴミを少しでも減らそう、住民のゴミ問題に対する意識を高めようということなので、今では金額についてはあまり問題にしていなそうです。

空き缶回収を行って苦労した点などを聞いてみました。

回収カゴの大きさについて、初めはたくさん入るようにと深いものを作りましたが、深すぎると空き缶を集める時に底の方まで手が届きづらいため、その都度カゴをたおさなければならぬことが分かり、手が届くよう浅いものに作り替えました。また、空き缶には甘味が残っているため、アリやハチが集まって来ます。夏の頃の収集は大変だったとのこと。こういう話を聞くと空き缶を出す時には中を水洗いしておくという心づかいも必要だなあと思いました。空き缶回収を始める前は、回収カゴにゴミを捨てる人もいるのではとの

心配もあったそうですが、この点については町内会の皆さんが大変協力的で、ゴミが捨てられていたことは一度もなく、役員の方々は町内会の皆さんに感謝していました。

この活動がもっと普及してほしい

今後は、住民のゴミに対する意識が高まるにつれ、回収量も増加すると思われれます。町内会としては、回収ステーションを順次増やし、できれば各ゴミステーション全ての横に空き缶回収カゴを置きたいということでしたが、現在のように役員の人だけの回収では人手が足りず、回収カゴの増設もむずかしいようです。

登別市が燃やせないゴミの捨て場所として現在使用している千歳町の最終処分場は、あと五、六年で満杯になる予定です。その後の捨て場所は、またさがさなければなりません。年々開発が進み捨て場所の確保は大変です。そういう事態をなるべく避けるためにもこの空き缶回収のような活動が多く地域の行われてほしいと思いました。

ゴミの減量化・資源化へGO!

常盤町方式にみる空き缶回収

市民リポート

リポーター 塚野道代

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の十六…七 曲坂

富浦墓地から札内町へ向う、国道三十六号線と平行した道を歩いて二三分。左手に突然視界が開ける。
目印は明治十四年御駐蹕之地記念碑。
ここから望む景色は、江戸時代の探険家松浦武四郎に「三保の松原に勝るとも劣らない。ただ惜しむらくは松が無いことだ。」と言わしめた程。
遠方に見える駒ヶ岳を富士山に見たてて、武四郎が言ったとされる。空気が澄むこの季節。ぜひ一度足を運んでみてはいかがですか。



市民登場

友達の輪

佐藤勝明さん
(47歳) 桜木町在住



冬期間青葉小学校区のスケートリンクづくりをやっています。昨年は暖冬で市内の他の地区ではスケートリンクができなかったんですが、青葉では滑れたんです。照明用の電柱も買いました。このリンクをつくるために、学校だけでなく町内会、子ども会とも協力し合っただけです。それがリンク作りを何年も続けられる一因かも知れません。

昨年から湧き水を利用してにじますも飼っているんです。とてもきれいな水なので試しにやってみたら一年でけっこう育ちました。近いうちに親子釣り大会をと計画中なんです。町内会の活動にもかかわっているんですが、今年は盆踊り大会が好評でした。太鼓も買ったしお祭りにはステージまで

設けてカラオケ大会もやりました。それから子どもたちのためにキャンプをやりました。そこで肝試しはどうしたらよいかいろいろ試したりして楽しかったですよ。ちなみに一番それらしく見えるのはアルコールでした。

この町内会は、地域が広くてなかなかまとまりづらいんですが、今は活動も充実して近くの町内会も巻き込んだ規模になっています。どんどん広がって、将来は登別市大盆踊り大会になったらすごいでしょう。それと町内会活動以外にもいろいろやってまして、その仲間とたまに飲むのも楽しみです。(リポーター 大屋二三枝)

今回は、片倉町在住の木村祥子さんです。お楽しみに!!

消費者コーナー

〈北海道価格〉

シリーズ①

道外各地と比べて物の価格が高くなる。北海道価格には、プロパンガス、自動車、航空運賃、電気料金などがあります。

この「北海道価格」の解消は北海道に住む全ての消費者の長い間の願いであり、これまでも道消費者協会が中心となり各地方の消費者協会もこの解消を目指して活動を行ってきました。

今回は、この「北海道価格」の一つであるプロパンガスの料金についてシリーズでお知らせします。家庭用のプロパンガスの料金制度には、最低責任使用料金制度(最低料金制)と二部料金制度(基本

料金制)の二種類があります。

◎最低責任使用料金制度とは?

一定の消費量までを一定額の最低責任使用料金と定め、それを上回る消費量については〇・一立方メートル当たりの単価をその消費量にかけた従量料金を支払う制度です。

この料金制度の場合は、消費量が一定量以下の少量のときでも料金を最低責任使用料として支払うこととなります。

◎二部料金制度とは?

基本料金と従量料金との合計からなっています。つまり、基本料金はガスの消費の有無にかかわらず固定費分として一定の額を設定しており、それとは別に、実際に使用したガスの使用量に応じた従量料金を加算して支払うという料金制度です。

(L・Pガス便利帳より)

秋の行政相談週間

十月十三日～十九日

この週間は、行政相談委員が行う行政相談について、住民の方々に理解を深めていただき、一層の利用を促進するために行います。

(一日行政相談所)

▽日時 十月十八日(金)午後一時～午後四時

▽場所 鉄南ふれあいセンター

▽相談員 行政相談委員 石本重吉さん

▽問い合わせ 総務課(☎551130)

全世帯に招待券を プレゼント

登別マリンパーク・ニクス

登別マリンパーク・ニクスでは昨年のオープン以来入館者が百万人を達成した記念に、市民に感謝の意を込めて一世帯一枚の無料招待券をプレゼント。招待券は九月末日までに町内会を経由して各世帯に配布します。なお町内会などに加入していない方については十月七日(月)以降市民課(☎551855)又は最寄りの支所へ届け出ください。

生涯学習 コーナー



公民館講座

「和紙人形・色紙人形 作り教室」

鷺別公民館は、和紙と色紙を使った人形作り教室を開きます。
▽日時 十月十七日(木)、二十一日(月)、二十四日(木)の計三回、午後六時三十分から午後八時三十分まで

- ▽場所 鷺別公民館
- ▽対象 一般成人
- ▽定員 三十名(定員になりしだい締め切り)
- ▽講師 永森敏子さん
- ▽用意するもの 鉛筆、物差し、ハサミ、木工用ボンド、ピンセット、綿花
- ▽経費 教材費として千三百円(三回分)
- ▽申し込み・問い合わせ 鷺別公民館(☎88823)で十月七日から電話で受け付けます。

若草ドームを 開放します

〈全天候型体育館〉

若草ドーム(若草小第二体育館)を学校開放指定校として開放します。

- ▽利用できる種目 野球、サッカー、ゲートボール等
- ▽開放予定日 十月中旬から
- ▽利用対象 原則として市内に居住している方で組織された団体等
- ▽申し込み 十月十二日(土)まで総合体育館に所定の用紙で申し込みください。(スポーツ安全協会傷害保険に加入のこと)
- ▽問い合わせ 総合体育館(☎5552)

ケーキ作りサークル 会員募集

- ▽サークル名 シュートクリームサークル(ケーキ、お菓子、パンなどをつくるサークル)
- ▽活動日 月一回(第一水曜日)午前九時三十分から正午まで
- ▽会費 月六百元
- ※会員の協力により託児もできます。(お子さん連れでもどうぞ)
- ▽申し込み 教育委員会社会教育課(☎1100)

ようこそ

イエンスンさん

十月七日から十七日までデンマークのリンゲ市からリズイー・サングター・イエンスンさんが研修生として当市を訪れます。イエンスンさんは、昨年コンサートを開いたミッドフュンズ高等学校の校長秘書をしており、また、登別マリンパーク・ニクスのモデルとなったイーエスコア城(デンマーク)の秘書でもあったのでその歴史にも非常に詳しい方で昨年に続き二度目の来登となります。

潜在中、市内の家庭でホームステイをし、老人大学、婦人短大、各中学校で英語指導助手のビータ先生と共に英語の指導やマイプラン講座の料理教室でデンマーク料理の紹介など各種行事に参加を予定しています。

両国の友好を深めるため、これらの行事に多数の市民の参加をお願いいたします。

優良青少年を ご推せんください

登別市青少年問題協議会は、郷土登別の担い手としての豊かな心と実践力を育成し、かつ、勤労意欲に富み、自立心豊かで他の模範となる青少年の表彰を行います。皆さんの推せんをお願いします。

- ▽表彰の種類及び対象
- 青少年善行表彰

市内に居住する二十八歳未満の青少年で、その活動が特に優秀と認められ他の青少年の模範となる方

○青少年団体活動者表彰

〈個人〉 市内に居住する二十八歳未満の青少年で、市内に組織されている青少年団体に三年以上所属し、現に活発な団体活動を続け、その活動に努力や業績が著しく、他の青少年団体活動の模範となる方

〈団体〉 市内に組織されている

青少年団体で、五年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であって、たえず堅実活発な活動を続け心身ともに豊かな人間性の形成につとめ、他の模範となる団体

○優良勤労青少年表彰

市内に居住する二十八歳未満の勤労青少年で、日常生活に誠実さが認められ、職場においても勤務年数が三年以上でその職務に忠実、精励であって職務技能の向上、研さんに努めるなどの熱意がみられ他の働く青少年の模範となる方

▽推せん者

一般市民又は関係機関並びに係団体

▽推せん・選考方法

教育委員会にある所定の推せん書に記入のうえ提出し、青少年問題協議会において選考・決定します

▽推せん締切り日 十月三十一日

(木)
▽問い合わせ 教育委員会社会教育課(☎1100)

インフルエンザ予防接種 について

三歳以上中学生までのインフルエンザ予防接種は、従来、学校、保育所、幼稚園で接種していましたが、本年度より市内の医療機関(別表)で接種するようになりました。

詳しいことは、学校等を通じてお知らせします。なお、高校生、一般市民の方については、市民会館、公民館で接種をしています。(日程については毎月十五日号の広報に登載)

▽問い合わせ 保健衛生課(☎1771)

登別市内インフルエンザ予防接種実施医療機関 (別表)

医療機関名	所在地	電話番号	実施日及び時間
1 大岩医院	鷺別町1-21-1	86-7045	10月15日、11月19日 14:00~16:00
2 忠愛病院	鷺別町2-32-1	86-7159	10月16日、23日、11月13日、20日 14:00~16:30
3 広瀬医院	鷺別町3-13-1	85-2547	10月14日~18日、11月11日~15日 14:00~17:00
4 鷺尾医院	富士町6-21-1	85-2878	10月14日~16日、11月11日~13日 14:30~17:00
5 深瀬医院	中央町2-16-6	85-2447	10月17日、31日、11月14日、28日 14:00~17:00
6 皆川病院	中央町2-20-4	88-0111	10月22日、23日、25日、11月19日、20日、22日 14:00~16:30
7 岡田医院	中央町5-4-4	85-2746	10月21日~23日、11月18日~20日 14:00~17:00
8 野野野医院	登別町1-8-1	83-1041	10月7日、9日、11月11日~13日 14:00~17:00
9 三愛病院	中登別町24	83-1111	10月1日~11月30日(土・日曜日除く) 15:00~17:00
10 山本内科医院	富士町1-14-9	85-4648	10月1日~11月30日(水・土・日曜日除く) 15:00~17:00
11 山本内科医院	若草町4-24-1	85-5180	10月16日、23日、11月13日、20日 14:00~16:30

札幌生まれの随筆家、森田たまの随筆「登別の秋」の中で、「温泉

場はどこでも秋が一番良いが、殊に、登別の秋は日本一だと思つて

いる。あの深く澄んだ空、紅葉と黄葉の入り交つたもみじの鮮やか

さは登別独特のもの」と登別温泉の秋を誉めそやしている。

カルルス温泉の秋も素晴らしい。登別は山川が多く湖にも恵まれ

ているので、溪谷や滝も各所にある紅葉の季節は素晴らしい。その

一つ、幌別鉱山の奥に「カマンベツの滝」、現在の三段の滝がある。

景観に勝れ、訪れる人も多いため地名の立場から考

えてみたい。滝への経路は、鉱山橋から右手約二百

此処から約二、三の地点に、夫々案内の標示があるので迷うことな

く滝の地点に着く。此処に樹齢百年以上と思われる

ミズナラの木があり、鉱山の篤志家による「三段の滝」の掲示板

もあるのですぐ分る。高さは約五十

をみることでできるのである。さて、三段の滝を以前は「カマンベツの滝」と呼称していたのは

前記の通りである。明治二十九年(一八九六)明治四十三年の陸地測量部出版の測図

に、現在の三段の滝の川が、アイヌ語で「カマンベツ」と命名されている

のが分かる。これは、知里・山田先生の幌別のアイヌ語地名でも同様である。

明治三十九年(一九〇六)幌別

郷土史点描

カマンベツの滝

「三段の滝」を訪ねて

登別郷土文化研究会 宮武 紳一



うな意味であろうが、呼称年代は、第二次大戦以後と言われること

は分らない。前記二者の他に昭和五十三年の

ある測図に、三段の滝が「白紗の滝」とよばれていたのが見えた。

白紗の「紗」の読み方は、漢用音で「しゃ」、漢音で「さ」であるが

何れであろうか。「紗」は通常うすぎぬのことで、きめ細かい絹布の

意味があるので、「白紗の滝」も分るような気がする。

然し、一般的に私達の考える「川」は、山の方から低地に

流れ、川口から海に流出しているが、アイヌ語の立場は、川は海か

らのぼり、部落を通過して山奥へ入る生物で、

山奥は川の頭としてとらえている。これはサケが川をのぼる姿を思

いおすが、実生活の中から、知里・山田先生は、登別のアイヌ語地名の中で、地名を大

切にすることを教えている。「カマンベツの滝」から「三段の滝」それが「白紗の滝」に変わる

幸いなことに、現在「三段の滝」に定着しているが「カマンベツの滝」の名は、この峡谷の状況や滝の様子を良く表わしたアイヌ語の地名、明治末期以降、幌別鉱山で

クリーンチケツト

取扱い所の取り止め

次の取扱い所はクリーンチケツト(し尿処理券)を取り扱わなくなりまし

たのでお知らせします。○新川町地区 阪井商店

※なお、新川町地区は、橋本商店、タカハシ理容所の二か所になりま

赤い羽根募金にご協力を...

今年も赤い羽根共同募金が十月一日から始まり

ました。この赤い羽根募金に寄せられたお金は、ひとり暮らしや寝たきりの

お年寄りへの給食サービス、障害のある方の働く場であり社会参加

の場となる小規模作業所やボランティア育成などのさまざまな福祉

活動の資金になっています。きめの細かい福祉サービスを提

供するため、皆さん一人ひとりのあたたかいまごころをお寄せくだ

さい。ご利用ください

ハローワークむろらん(室蘭公共職業安定所)は、「一日ハローワーク」を開きます。求人、求職

十時から午後四時三十分まで

▽場所 室蘭ファミリアパート 桐屋(室蘭市東町二丁目)

▽問い合わせ ハローワークむろらん(☎228689)

※相談は無料です。直接会場へお越しください。

道立札幌女子高等技術専門学校

平成四年度学生募集

▽募集科目・定員 O・A事務科、トレースデザイン科、写真植字科、販売管理科 各科二十名

▽応募資格 高校卒業程度の学力を有する方(年齢は問いません)

▽願書受け付け期間 新規学卒予定者 一期：十一月一日から十一月三十日まで・二期：十二月二日から平成四年二月二十五日まで

▽選考日 新規学卒予定者：一期十二月九日(月)、二期平成四年三月四日(水) その他の入学希望者：平成四年三月四日(水)

▽訓練期間 平成四年四月から平成五年三月まで(一年間)

▽授業料 無料(教科書、工具等の経費として八万五千円から九万五千円程必要)

※詳しい内容については札幌女子高等技術専門学校(札幌市東区北二十四条東一丁目 ☎011-742-5701)までお問い合わせください。